

八戸工業高等専門学校 建設環境工学科
平成30年度 卒業研究発表会プログラム
平成31年 1月 24日 (木) 50周年記念ホール

◎ 環境都市・建築デザインコース長挨拶 藤原広和コース長 (8:50~8:55)

《午前の部》 (9:00~12:00)

No.	開始時刻	題 目	(発表時間)	発表者	指導教員	頁
◇ 司会者：馬渡教員						
1	9:00	LPC-FA併用系コンクリートを用いた塩害とスケーリングの複合劣化低減対策の開発 Development of Salt Damage and Scaling Resistance by Adopting LPC-FA Concrete	(10分)	川守田 祥吾	庭瀬教員	1
2	9:10	発熱性セメント固化廃棄体の模擬供試体による物質移行抵抗性と鉱物組成変化の熱影響評価 Thermal Effect Evaluation of Material Transfer Resistance and Mineral Composition Change Based on Simulated Specimen of Exothermic Cement Solidified Waste	(10分)	橋本 龍	庭瀬教員	5
3	9:20	UAVを用いたSfM写真測量に関する適正な空撮条件の検討	(10分)	高橋 知世	藤原教員	9
4	9:30	3Dスキャナーの性能検証および3次元測量の観測方法の検討	(10分)	宮崎 愛莉	藤原教員	13
5	9:40	浄化材施用による水質・底質改善効果の現地試験 Field Test on Effects of Water Quality and Bottom Sediment by Using of Purification Material	(15分)	菅原 和也 鶴飼 大地	藤原教員	17
6	9:55	水質・底質浄化材がヤマトシジミに及ぼす影響について	(10分)	川村 未歩	藤原教員	21
7	10:05	小川原湖産シジミ可食部の元素成分特性について Characteristics of Element Component on Edible Portion of Corbicula Japonica in Lake Ogawara	(10分)	沼沢 光	藤原教員	23

☆☆ 休 憩 (10分) ☆☆

8	10:25	画像処理とファジィ推論を用いた耐候性鋼材のさび評価の検討	(10分)	奥村 泰輔	杉田教員	27
9	10:35	大阪府北部地震における周期特性と方向性の検討 Investigation of cycle characteristics and direction in the Osaka prefecture	(10分)	上平 千帆里	杉田教員	29
10	10:45	平成30年北海道胆振東部地震の周期特性と方向性についての検討 Investigation on the periodicity and directivity of the 2018 Hokkaido Eastern Iburu Earthquake	(15分)	アテイカ エイシャトン	杉田教員	31
11	11:00	常時微動測定による構造物における固有周期の測定方法の評価 Evaluation of measurement method of natural period in structure by microtremor measurement	(10分)	大沢 光司	杉田教員	35
12	11:10	小型振動台を用いた飽和普通砂の繰返しせん断挙動 Shearing behavior on saturated sand using compact shaking table	(10分)	加藤 泰貴	清原教員	37

◇ 司会者：今野教員

13	11:20	八戸しらす盛土の降雨時水分移動挙動の定量的評価と経年変化	(10分)	木村 匡伯	清原教員	39
14	11:30	水分特性曲線を利用した野外盛土の間隙径推測と劣化度評価 Pore size prediction and degradation valuation on field embankment using soil water characteristic curve	(10分)	端本 蓮	清原教員	41
15	11:40	ベントナイト15%混合八戸しらす土のせん断強度向上効果	(10分)	三浦 亮太	清原教員	43
16	11:50	新しいPMA試薬、PMAxxによる生理的活性のある細菌の分別効果 Discrimination effect of PMAxx between live and dead bacteria	(10分)	高嶋 慧周	矢口教員	45

☆☆ 昼 食 (12:00~12:45) ☆☆

《午後の部》 (12:45~16:45)

17	12:45	八戸高専のプールと加湿器の衛生学的水質調査	(10分)	田澤 身友希	矢口教員	47
18	12:55	八戸周辺の河川における糞便汚染調査の改良	(10分)	本波 千咲	矢口教員	49

No.	開始時刻	題 目	(発表時間)	発 表 者	指導教員	頁
19	13:05	地名が示唆する災害リスク-八戸市の事例-	(10分)	岡沼 佳音	馬渡教員	51
20	13:15	東北地方における公営住宅の長寿命化計画に関する研究	(15分)	木村 鈴 小谷 菜穂子	馬渡教員	53
21	13:30	団地の人口減少が日常生活に与える影響-是川団地における買い物行動-	(15分)	田中 大貴 米澤 一喜	馬渡教員	57
22	13:45	仙台城本丸御殿大広間の復元的考察	(10分)	山村 優太	中村教員	61
23	13:55	八戸まちなか広場の計画プロセスと活用の課題についての研究	(10分)	目代 凧	河村教員	65
24	14:05	日本沿岸の波浪エネルギーの算定と利活用について	(10分)	山本 凌	南教員	69

☆☆ 休 憩 (10分) ☆☆

◇ 司会者：庭瀬教員

25	14:25	越波式波力発電装置の碎波について On the breaking waves of the overtopping wave power generators	(10分)	島浦 現	南教員	71
26	14:35	越波式波力発電装置の越波流量について Experiment for the overtopping flow rate on wave power generators	(10分)	畠山 拓也	南教員	73
27	14:45	地域型住宅グリーン化事業からみる青森県の住宅生産システムに関する研究	(10分)	藤田 大地	金教員	75
28	14:55	青森県内の空き家に関する研究	(10分)	澤田 啓	金教員	77
29	15:05	青森県の空き家が多い地域にみられる傾向についての地域分析	(10分)	向井 悠真	金教員	79
30	15:15	マレーシアにおけるノンエンジニア住宅生産に関する研究 Study on the Non-Engineered Housing Production in Malaysia	(10分)	アキラ	金教員	81
31	15:25	木材需要の高まりによる国産材CLTの生産体制強化についての研究	(10分)	小木将幹	金教員	83

☆☆ 休 憩 (10分) ☆☆

32	15:45	調和分解による潮流解析結果のコンパクト化 Compactification of Results of Tidal Flow Simulation Applying Harmonic Analysis	(10分)	赤坂 健太	丸岡教員	85
33	15:55	潮流解析のためのNao.99bを利用した開境界条件の設定法の改良	(10分)	間木 大幹	丸岡教員	89
34	16:05	海洋環境把握のためのインドネシア海域の潮流解析 Tidal Flow Simulation to Understand Marine Environments in the Ocean Surrounding Indonesia	(10分)	会津 優	丸岡教員	91
35	16:15	赤潮が頻発するインドネシア・ランブーン湾の潮流解析 Tidal Flow Simulation in Lampung Bay in Indonesia Where Red Tide Frequently Occurs	(10分)	小笠原 舜太	丸岡教員	95
36	16:25	経年劣化した窓ガラスの耐風性能評価に関する研究	(10分)	出町 謙弥	今野教員	99
37	16:35	実物大耐力実験に基づく木造住宅屋根部の耐風性能評価	(10分)	間山 佳寿美	今野教員	101

【全37テーマ:41名】

◎ 講評 藤原 広和 コース長 (16:45 ~ 16:50)

【注意事項】

- 1: 発表時間は 1人の場合 10分 2人の場合 15分 とする。
 質疑応答時間は 1人の場合 3分 2人の場合 4分 とし、
 発表時間を含むものとする。

(1人: 7+3=10分 2人: 11+4=15分)

2: 発表時間は厳守のこと、超過の場合は打ち切る。

3: 発表時間の経過は次のような呼鈴で知らせる。

- (●) 1 鈴: 司会者の指示により 発表開始
- (●) 1 鈴: 発表終了 2分前
- (●●) 2 鈴: 発表終了 1分前
- (●●●) 3 鈴: 発表終了、質疑応答開始
- (●●●) 3 鈴: 質疑応答終了